

マリアの風 Web 8/9



受援力 ～「助けて」と言える力～

人に何かを頼む時、「すみません」と言いますか。それとも「ありがとう」と言いますか。人に何かを頼む時、迷惑をかけて申し訳ないと思いますか。それとも相手を信頼して、助けていただけることに感謝してお任せしますか。

「受援力」という言葉を最近学びました。これは「助けて」といえる力のこと。助けを求めて、それを受け入れる能力や態度の

ことを指します。この言葉は災害時にボランティアなど支援を

地域で受け入れる環境・知恵として内閣府が呼称しました。その後、日常生活の中でも幅広く活用されるようになってきたのだそうです。

私個人のことを申し上げれば、人に助けを求めるのは何か気が引ける感じがして素直に言い出せない事が多いのです。何かと抱え込んでしまうタイプで、受援力は乏しいと思います。でもだからといって何でも

自分でできる訳ではありません。自分に頼ると力の乏しさにいつも無力感を感じます。思い切って支援をお願いしてやると、自分が思ってもいなかったような素晴らしい結果になって、ありがたいと思うことはしばしばあるのです。逆に自分が何かを頼まれた時はどうでしょう。自分を頼って頂いたこと、相談して頂いたこと、自分が役に立てることを嬉しく感じるものです。私が頼る時、相手もそのように感じてくださっているかもしれません。人には色々の違った能力があり、また一人の力は

万能ではありません。それぞれが自分の力を出し合い、分かち合い、助け合う時、何でもできると感じます。受援力は貴重で必要な力です。「助けてください」と容易く言える関係を作っていければと思います。

(院長 山中淳子)



七夕の短冊に思いを込めて

6月に職場体験に訪れた中学生と一緒に、七夕の飾りを作成したので、今年は初めて、リハビリ室前に笹の枝を準備しました。患者さんは、思い思いに短冊に願い事を書き、枝に結びつけました。自宅で作ったという、くす玉を飾ってくださる人もいました。



愛されているわたし、愛されているあなた

7月18日(木)「愛されているわたし、愛されているあなた」というテーマで研修会がありました。講師の塩谷恵策神父様(イエズス会・長塚黙想の家)は聖書から複数の箇所を引用しながら、時にはご自分の体験も交え、神が愛されている人間の価値について話されました。個人的に印象に残ったのは、毎日の小さなことの積み重ねが、最終的にイエスの言われる「わたしにしてくれたことなのである」(マタイ25章 最後の審判)につながるということです。



五島カントリークラブでゴルフ大会

長崎県社会保険協会主催のゴルフ大会が開催されました。社会保険の加入している事業所対象にしたもので、当院から二名が参加しました。結果は準優賞とブービー賞でした。他の事業所の方と普段と違う交流でき楽しい1日となったそうです。



一般社団法人長崎県社会保険協会では、健康づくり事業として被保険者と家族のための各種イベントや大会、健康づくり指導講習会や健康啓発のDVD貸し出しなど行っています。



お誕生日おめでとうございます

当院院長の山中先生が、8月に還暦を迎えられました。有志の職員が中心になって準備を進め、誕生日当日、全職員からのメッセージが書かれた色紙とお花を手渡しました。突然のプレゼントにびっくりの院長先生でした。



必要としている誰かに届けたい



8月11日(日)



悪天候のため延期となっていた第7回まごころひろばが開催されました。大変な暑さの中ではありますが、100人を超える方が足を運んでくださいました。奥浦慈恵院みんな食堂ではカレーライスの無料提供がありました。最後の抽選会まで参加していただき、無事に終了しました。ご協力くださった皆さん、ありがとうございました。

研修医紹介



限られた資源で
最良の医療を

Profile

長谷川 稔起 先生 Dr. Hasegawa toshiki

- ◇出身地…大阪府
- ◇趣味・特技…釣り、ゴルフ
- ◇志望科…救急科
- ◇研修期間…令和6年8月11日～10月5日

すぐ目の前に大自然が存在するというのは、普段勤務する福岡では味わうことができないので、自然が大好きな私としては、大変興奮しています。離島ならではの、限られた医療資源の中で、患者さんにとって最良の医療を提供するためにはどうすべきかを学ぶ貴重な機会ですので、有意義な時間を過ごせるように日々精進します。

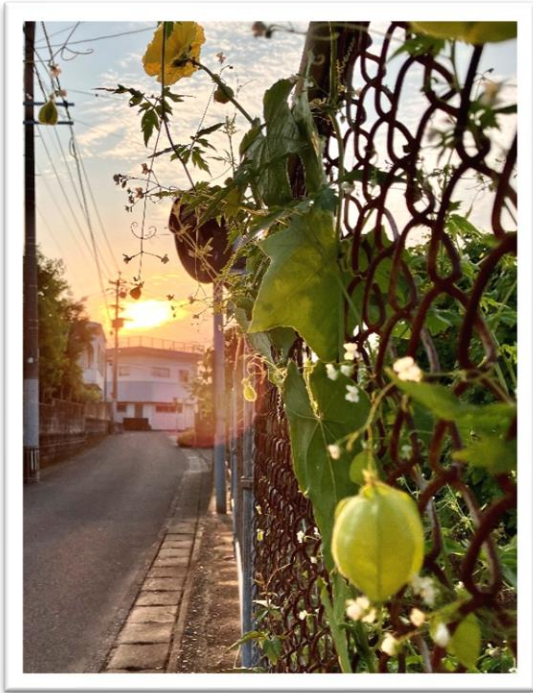


9月19日(木) バーベキュー

10月26日(土) ロザリオの集い

次回発行日は11月1日です。よろしくお願いいたします。

今月のイチ押し



太陽のまぶしさに、今日も暑くなると覚悟する朝。日照りの中でも実をつける、フウセンカズラがかわいらしいです。

編集者より

こんなに蒸し暑いと感じた夏があったでしょうか。亜熱帯地域でもないのに、いつもと同じ光景の下でただただ暑い。さて、すっかり暑さの象徴になっている太陽ですが、太陽を赤で表現するのは日本とタイぐらいで世界的に珍しいとの事。赤い太陽は仏教とともに日本に伝わった説がありますが、中国や韓国は西欧諸国と同じように黄色で表現するそう。朝日や夕日に哀愁を感じる日本人に赤い太陽が合うのでしょうか。だんだんと日が短くなってきました。暑さもそろそろ終わりでしょうか。 (編集者)